




2023年4月28日

各 位

会 社 名  日本リーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 江草 茂
(コード番号 1938 東証プライム)
問合せ先 取締役経営企画部長 澤村 正彰
(TEL. 03-6880-2710)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月7日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,500	1,800	2,150	1,570	62.42
今回発表予想(B)	53,000	2,600	3,000	2,100	84.16
増減額(B-A)	2,500	800	850	530	—
増減率(%)	5.0	44.4	39.5	33.8	—
(ご参考)前期実績(2022年3月期)	53,231	3,068	3,304	2,403	95.55

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,500	1,770	1,290	51.29
今回発表予想(B)	47,000	2,400	1,600	64.12
増減額(B-A)	2,500	630	310	—
増減率(%)	5.6	35.6	24.0	—
(ご参考)前期実績(2022年3月期)	47,250	2,990	2,209	87.86

2. 修正の理由

【連結業績予想の修正】

当社グループの主たる事業である電気設備工事業は、契約により工事の完成引渡しや設計変更の契約時期が第4四半期に集中するため、当該四半期の売上高は会計年度における売上高の4割近い構成となっております。また、販売費及び一般管理費等の固定費は各四半期に概ね均等に発生するため、利益についても当該四半期に偏重する傾向にあるなど、会計年度を通じた業績の推移は季節的変動が著しい状況となっております。

当連結会計年度においてもこの傾向に変化はないものの、半導体や鋼材といった資機材不足等により、一部プロジェクト工事の発注繰り下げあるいは着工遅延が発生したことで、売上高が期首の想定を下回る見通しとなり、加えて高騰する原材料価格等の影響が工事原価率を押し上げている状況から、2023年2月7日に業績予想の下方修正を提出いたしました。

しかしながら、①年度末にかけて完成引渡しとなった大型プロジェクト工事において、原材料価格等の高騰によるコスト増の転嫁が設計変更で認められたこと、②景気が回復基調で推移する中、当社グループにおいても年度後半から受注高が伸長し始め、これら工事が進捗したこと等が回復の要因となり、売上高につきましては530億円となる見込みとなりました。

利益につきましては、①売上高が伸長したこと、②原材料費高騰分等の価格転嫁が一部で認められたこと、③引き続き工事原価をはじめとしたコストの低減に努めたこと等が利益水準の上昇に寄与し、営業利益は26億円、経常利益は30億円、親会社株主に帰属する当期純利益は21億円となる見込みとなりました。

【個別業績予想の修正】

上記、連結業績予想の修正で記載した要因と同様の理由によるものであります。

3. 配当予想

期末配当予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました1株当たり27円から変更はございません。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上